

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和6年 1月 日</p> <p>さいたま市長 殿</p> <p>提出者 住 所 埼玉県深谷市稲荷町2丁目10番6号 氏 名 古郡建設株式会社 代表取締役社長 古郡栄一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 048-573-3111</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	古郡建設株式会社
事業場の所在地	埼玉県さいたま市岩槻区馬込十番2100番5
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 12,923,106 千円
③ 従業員数	120人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・がれき類(コンガラ・アスガラ)→破碎→再生骨材として再利用(委託)または埋立・廃プラ類→破碎→最終処分地で埋立・混合廃棄物→分別、破碎→最終処分地で埋立・建設汚泥→乾燥→最終処分地で埋立・木くず→破碎→チップなどへ再資源化

(日本産業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社管理部（廃棄物処理に関わる責任者） ↓ 各工事部管理者（土木工事長、建築工事長、リニューアル工事長） ↓ 各現場作業所担当者（現場代理人、工事担当者（産業廃棄物担当）等）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 各現場において産業廃棄物の排出抑制及びがれき類の再資源化、過剰な梱包材の削減、リサイクル性を考慮した材料の使用、現場内再利用の推進を行っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度に引き続き、排出抑制及び再資源化施設への搬入、過剰な梱包材の削減、リサイクル性を考慮した材料の使用、現場内再利用の推進を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ISO14001の取組みにて産業廃棄物の分別活動を実施し、再資源化を推進している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続きISO14001の取組みにて産業廃棄物の分別活動を実施し、再資源化を推進する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
委託基準に基づき委託可能な処理業者を選定している。また、委託先処理業者へ適切な処理方法等を口頭及び書面にて確認している。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引き続き委託可能な処理業者を選定する。また、委託先処理業者が決まり次第、適切な処理方法等を口頭及び書面にて確認する。</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書【さいたま市】（別紙集計表）

現状：前年度（令和4年度）実績量

計画：今年度（令和5年度）計画量

単位：トン(t)

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		処理の委託											
	排出量		自ら再生利用を行った (行う)量		自ら熱回収を 行った(行う)量				自ら中間処理により 減量した(する)量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用処理業者への 処理委託量		認定熱回収業者への処 理委託量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0221 建設汚泥	2,864.25	2,577.83									2,864.25	2,577.83	2,864.25	2,577.83						
合計	2,864.25	2,577.83									2,864.25	2,577.83	2,864.25	2,577.83						